



2021年5月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2020年10月15日

上場会社名 株式会社きずなホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 7086 URL <https://www.kizuna-hd.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長兼グループCEO (氏名)中道 康彰
 問合せ先責任者 (役職名)取締役兼CFO (氏名)関本 彰大 (TEL)03-5427-6432
 四半期報告書提出予定日 2020年10月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有 (2020年10月15日開示予定)
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (2020年10月22日に当社HPにて説明動画掲載予定)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年5月期第1四半期の連結業績（2020年6月1日～2020年8月31日）

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年5月期第1四半期	1,764	△7.5	85	△59.3	45	△73.3	29	△73.5	29	△73.5	29	△73.5
2020年5月期第1四半期	1,908	—	210	—	171	—	111	—	111	—	111	—

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2021年5月期第1四半期	8.56	8.52
2020年5月期第1四半期	32.78	32.48

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2021年5月期第1四半期	18,567	3,616	3,616	19.5
2020年5月期	17,540	3,587	3,587	20.5

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年5月期	—	—	—	—	—
2021年5月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年5月期の連結業績予想（2020年6月1日～2021年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰 属する当期利益		基本的1株当 たり当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,400	9.4	600	22.8	460	37.9	300	42.6	300	42.6	87.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更
- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年5月期1Q	3,444,235株	2020年5月期	3,444,235株
② 期末自己株式数	2021年5月期1Q	38株	2020年5月期	1株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年5月期1Q	3,444,223株	2020年5月期1Q	3,394,235株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成をお約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

当第1四半期の決算説明動画を2020年10月22日に当社ウェブサイトに掲載予定です。
(<https://www.kizuna-hd.co.jp/ir>)

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
（1）経営成績に関する説明	2
（2）財政状態に関する説明	4
（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	6
（1）要約四半期連結財政状態計算書	6
（2）要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	7
（3）要約四半期連結持分変動計算書	8
（4）要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
（5）要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、前連結会計年度より引き続き、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響が継続、その収束は依然として見通せない状況にあり、景気の先行きについては極めて不透明な状況が続いております。

葬儀業界におきましては、高齢者人口の増加に伴って潜在需要を示す死亡者人口が2040年まで年々増加すると推計されており、今後の葬儀件数増大が見込まれていますが、一方で核家族化の進展等により簡素な葬儀の需要が高まるなど葬儀単価は下落する傾向にあります。加えてCOVID-19をきっかけとした「新しい生活様式」への対応を迫られるなど、大きな変革の時期を迎えております。

かかる事業環境の構造的な変化の中でも当社グループは、従前から不特定多数の参列者との接触を最小限にとどめる「一日一組」の「家族葬」を提供するなど、社会の変容に合致した形態のサービスを提供することで生活者の変容する葬儀需要を着実に取り込んでまいりました。

当第1四半期連結累計期間におきましては、当社独自のオーダーメイド型葬儀である「オリジナルプラン葬儀件数」（注）を業績向上につながる重要業績評価指標（KPI）と位置づけ、当該数値を向上させる施策を通じて、葬儀件数の増加及び葬儀単価の向上に取り組んでまいりました。

その結果、葬儀件数は2,005件（前年同期比246件の増加）、仲介件数も含めた葬儀取扱件数は2,288件（前年同期比281件の増加）となりました。うちオリジナルプラン件数は前年同期比18件減少の419件となりましたが、葬儀件数に占めるオリジナルプラン件数の比率は前連結会計年度に引き続き20%を超え、新しい生活様式下においても多くのお客様からのご支持を頂きました。

また葬儀単価は、COVID-19による葬儀の簡素化や参列者数減少の影響を受け、前年同期比193千円減の809千円となりました。期初計画における当第1四半期連結累計期間における葬儀単価は832千円を計画しておりましたが、計画を23千円下回る結果となりました。その一方で、前第4四半期連結会計期間（2020年3月～5月）の葬儀単価787千円に対しては22千円の増加と、緩やかではありますが回復基調にあります。

(注) オリジナルプランとは、「ひとりひとりに合った葬儀の実現」という新しい価値の創造を目指し、2016年より開始した当社独自のオーダーメイド型の葬儀プランであります。通常のセットプランよりも高額の葬儀単価が見込めるため、主に葬儀単価向上の指標としております。

なお、各拠点別の取扱件数の内訳は、下記のとおりとなります。

(葬儀取扱の状況)

区分	拠点	展開 都道府県	取扱件数			
			当第1四半期 連結累計期間	前第1四半期 連結累計期間	増 減	前連結 会計年度
葬儀施行業 (葬儀件数)	北海道支社	北海道	291	231	60	1,068
	千葉支社	千葉県	336	316	20	1,371
	愛知支社	愛知県	214	220	△6	901
	宮崎支社	宮崎県	366	325	41	1,493
	熊本支社	熊本県	238	229	9	968
	都市総合支社	東京都 神奈川県 埼玉県	383	307	76	1,452
	(株)花駒	京都府	177	131	46	655
	葬儀件数 計			2,005	1,759	246
ネット集客業 (仲介件数)	都市総合支社	29道府県	283	248	35	962
取扱件数 合計			2,288	2,007	281	8,870

(オリジナルプランの状況)

	当第1四半期 連結累計期間	前第1四半期 連結累計期間	増減	前連結 会計年度
オリジナルプラン葬儀件数（件）	419	437	△18	1,733
葬儀件数に占めるオリジナルプラン 葬儀件数の割合（％）	20.9	24.8	△3.9	21.9

出店の状況につきましては、2020年8月に「ファミリーユ西野」（北海道札幌市）、「ファミリーユとろく」（熊本県熊本市）の2店舗の直営ホールを開業いたしました。この結果、当第1四半期連結会計期間末における直営ホール数が合計83ホールとなりました。

(ホール数の状況)

拠点	都道府県	前第1四半期 連結会計期間末	前連結会計年度末	当第1四半期 連結会計期間末
北海道支社	北海道	15	15	16
千葉支社	千葉県	13	14	14
愛知支社	愛知県	12	12	12
宮崎支社	宮崎県	18	19	19
熊本支社	熊本県	14	14	15
都市総合支社	神奈川県	1	1	1
榊花駒	京都府	4	6	6
合計	7道府県	77	81	83

当第1四半期連結累計期間の経営成績の状況は以下のとおりであります。

（売上収益）

当第1四半期連結累計期間の売上収益は前第1四半期連結累計期間に比して143百万円減少し、1,764百万円（前年同期比7.5%減）となりました。これは前連結会計年度にオープンした直営の7ホールの収益が寄与したことや、既存店の葬儀件数が増加した一方で、葬儀単価が大きく下落したことが要因であります。

（売上原価、売上総利益）

当第1四半期連結累計期間の売上原価は前第1四半期連結累計期間に比して39百万円減少し、1,143百万円（前年同期比3.3%減）となりました。これは、ホール数増加に伴って労務費、減価償却費が増加した一方、減収に伴い、売上収益に比例する直接原価が減少したことが要因であります。

以上の結果、売上総利益は前第1四半期連結累計期間に比して104百万円減少し、621百万円（前年同期比14.4%減）となりました。

（販売費及び一般管理費、その他の収益、その他の費用、営業利益）

当第1四半期連結累計期間の販売費及び一般管理費は前第1四半期連結累計期間に比して8百万円増加し、523百万円（前年同期比1.7%増）となりました。オフラインを始めとした広告宣伝費の抑制・効率化を進めた一方で、上場及びその維持に向けて人件費が増加したこと等が要因であります。

当第1四半期連結累計期間のその他の費用は前第1四半期連結累計期間に比して11百万円増加し、12百万円となりました。これは主に、西岡ホール（北海道）のリニューアル工事に伴う固定資産除却費用が発生したことが要因であります。

以上の結果、営業利益は前第1四半期連結累計期間に比して124百万円減少し、85百万円（前年同期比59.3%減）となりました。

（金融収益、金融費用、税引前四半期利益）

当第1四半期連結累計期間の金融費用は前第1四半期連結累計期間とほぼ同水準の40百万円（前年同期比2.1%増）となりました。

以上の結果、税引前四半期利益は前第1四半期連結累計期間に比して125百万円減少し、45百万円（前年同期比73.3%減）となりました。

（法人所得税費用、四半期利益、親会社の所有者に帰属する四半期利益）

当第1四半期連結累計期間の法人所得税費用は、16百万円（前年同期比72.9%減）となりました。

以上の結果、当四半期利益及び親会社の所有者に帰属する四半期利益は、いずれも前第1四半期連結累計期間に比して81百万円減少し、29百万円（前年同期比73.5%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

①財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末における資産、負債及び資本の状況は次のとおりであります。

（資産）

流動資産は、前連結会計年度末に比べ283百万円増加し、1,055百万円となりました。これは主として、現金及び現金同等物が291百万円増加したためであります。非流動資産は、前連結会計年度末に比べ742百万円増加し、17,512百万円となりました。これは主として、新規ホールにより有形固定資産が153百万円、使用権資産が560百万円増加したためであります。その結果、資産は、前連結会計年度末に比べ1,026百万円増加し、18,567百万円となりました。

（負債）

流動負債は、前連結会計年度末に比べ243百万円増加し、2,075百万円となりました。これは主として、借入金が200百万円増加したためであります。非流動負債は、前連結会計年度末に比べ753百万円増加し、12,874百万円となりました。これは主として、借入金が200百万円、リース負債が538百万円増加したためであります。その結果、負債は、前連結会計年度末に比べ997百万円増加し、14,950百万円となりました。

（資本）

資本は、前連結会計年度末に比べ29百万円増加し、3,616百万円となりました。これは主として、利益剰余金の増加によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、805百万円（前連結会計年度末比291百万円増）となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による収入は251百万円（前年同期比101百万円減）となりました。これは主に、税引前四半期利益が45百万円（前年同期比125百万円減）であったことや減価償却費及び償却費275百万円（前年同期比32百万円増）を計上したこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による支出は180百万円（前年同期比23百万円増）となりました。これは主に、新規ホール等の有形固定資産の取得による支出150百万円（前年同期比15百万円増）によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による収入は219百万円（前年同期比375百万円増）となりました。これは、リース負債の返済による支出178百万円（前年同期比22百万円増）があった一方、借入金による収入400百万円（前年同期比400百万円増）があったことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、2020年7月15日付「2020年5月期決算短信」で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

当第1四半期連結累計期間における葬儀単価は809千円となり、期初計画832千円を若干下回る結果となりましたが、葬儀件数については計画を上回る水準で推移しており、当第1四半期連結累計期間における売上収益・利益は概ね計画通りの進捗であります。また、当連結会計年度は従来の出店ペースを大きく上回る15ホールの新規出店を計画しておりますが、こちらに関しましても計画通り進捗中であります。

なお、現在の連結業績予想は、COVID-19の影響は当第2四半期連結会計期間末（2020年11月末）まで継続することを前提として算定しております。一方で、足元の感染者数の推移や経済の回復動向を見る限り、当該事象の影響が当初想定より長期化するおそれも十分に考えられ、その場合には主に当社葬儀単価へのマイナスの影響が発生するおそれがあります。マイナス影響の長期化に対しては、withコロナ下における単価向上施策や、大規模葬から中小規模葬への顧客ニーズのシフトを的確に捉えた件数増加施策の実行により対応してまいりたい方針です。

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	513,863	805,131
営業債権及びその他の債権	171,449	181,237
棚卸資産	33,612	30,836
その他の流動資産	52,225	37,902
流動資産合計	771,149	1,055,106
非流動資産		
有形固定資産	3,111,150	3,264,866
使用権資産	9,312,581	9,873,188
のれん	3,625,667	3,625,667
無形資産	99,181	105,314
その他の金融資産	388,688	403,555
繰延税金資産	216,464	216,464
その他の非流動資産	15,665	23,159
非流動資産合計	16,769,399	17,512,216
資産合計	17,540,549	18,567,323

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	338,871	479,193
借入金	340,679	540,952
リース負債	707,265	746,814
未払法人所得税	63,060	17,842
その他の流動負債	382,215	290,955
流動負債合計	1,832,092	2,075,758
非流動負債		
借入金	3,329,639	3,530,084
リース負債	8,497,905	9,036,158
その他の金融負債	600	5,950
引当金	293,201	302,533
非流動負債合計	12,121,347	12,874,727
負債合計	13,953,439	14,950,485
資本		
資本金	153,360	153,360
資本剰余金	2,579,379	2,579,379
利益剰余金	828,221	857,718
自己株式	—	△54
その他の資本の構成要素	26,148	26,433
親会社の所有者に帰属する持分合計	3,587,110	3,616,837
資本合計	3,587,110	3,616,837
負債及び資本合計	17,540,549	18,567,323

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年6月1日 至 2020年8月31日)
売上収益	1,908,457	1,764,771
売上原価	△1,182,601	△1,143,454
売上総利益	725,856	621,316
販売費及び一般管理費	△515,266	△523,796
その他の収益	1,169	938
その他の費用	△1,152	△12,648
営業利益	210,606	85,810
金融収益	186	144
金融費用	△39,332	△40,151
税引前四半期利益	171,460	45,803
法人所得税費用	△60,182	△16,305
四半期利益	111,277	29,497
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	111,277	29,497
四半期利益	111,277	29,497
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	32.78	8.56
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	32.48	8.52

要約四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年6月1日 至 2020年8月31日)
四半期利益	111,277	29,497
四半期包括利益	111,277	29,497
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	111,277	29,497
四半期包括利益	111,277	29,497

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間（自 2019年6月1日 至 2019年8月31日）

(単位：千円)

	親会社の所有者に帰属する持分							
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素		合計	資本合計
					新株予約権	合計		
2019年6月1日残高	100,000	2,526,019	617,794	—	24,875	24,875	3,268,689	3,268,689
四半期利益	—	—	111,277	—	—	—	111,277	111,277
その他の包括利益	—	—	—	—	—	—	—	—
四半期包括利益	—	—	111,277	—	—	—	111,277	111,277
新株の発行	—	—	—	—	—	—	—	—
配当金	—	—	—	—	—	—	—	—
自己株式の取得	—	—	—	—	—	—	—	—
株式報酬	—	—	—	—	318	318	318	318
所有者との取引額等合計	—	—	—	—	318	318	318	318
2019年8月31日残高	100,000	2,526,019	729,072	—	25,193	25,193	3,380,285	3,380,285

当第1四半期連結累計期間（自 2020年6月1日 至 2020年8月31日）

(単位：千円)

	親会社の所有者に帰属する持分							
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素		合計	資本合計
					新株予約権	合計		
2020年6月1日残高	153,360	2,579,379	828,221	—	26,148	26,148	3,587,110	3,587,110
四半期利益	—	—	29,497	—	—	—	29,497	29,497
その他の包括利益	—	—	—	—	—	—	—	—
四半期包括利益	—	—	29,497	—	—	—	29,497	29,497
新株の発行	—	—	—	—	—	—	—	—
配当金	—	—	—	—	—	—	—	—
自己株式の取得	—	—	—	△54	—	—	△54	△54
株式報酬	—	—	—	—	284	284	284	284
所有者との取引額等合計	—	—	—	△54	284	284	230	230
2020年8月31日残高	153,360	2,579,379	857,718	△54	26,433	26,433	3,616,837	3,616,837

（4）要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2019年6月1日 至 2019年8月31日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2020年6月1日 至 2020年8月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	171,460	45,803
減価償却費及び償却費	243,373	275,710
固定資産処分損益	857	11,152
金融収益及び金融費用	39,146	40,006
営業債権及びその他の債権の増減額（△は増加）	△23,528	△9,124
棚卸資産の増減額（△は増加）	△1,686	2,776
営業債務及びその他の債務の増減額（△は減少）	4,369	58,117
その他資産の増減額（△は増加）	△8,359	20,148
その他負債の増減額（△は減少）	21,999	△96,275
その他	△10,191	△5,534
小計	437,441	342,779
利息及び配当金の受取額	3	3
利息の支払額	△34,455	△29,377
法人所得税の支払額	△49,435	△61,517
営業活動によるキャッシュ・フロー	353,554	251,888
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△134,324	△150,141
有形固定資産の売却による収入	86	45
無形資産の取得による支出	△10,300	△13,500
敷金保証金の差入による支出	△13,410	△17,519
敷金保証金の回収による収入	1,017	1,487
その他	△200	△907
投資活動によるキャッシュ・フロー	△157,131	△180,535
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	150,000
長期借入れによる収入	—	250,000
長期借入金の返済による支出	—	△1,666
リース負債の返済による支出	△155,447	△178,364
その他	—	△54
財務活動によるキャッシュ・フロー	△155,447	219,915
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額	40,975	291,268
現金及び現金同等物の期首残高	696,823	513,863
現金及び現金同等物の四半期末残高	737,798	805,131

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社グループは葬儀事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり利益)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年6月1日 至 2020年8月31日)
親会社の所有者に帰属する四半期利益 (千円)	111,277	29,497
発行済普通株式の期中加重平均株式数 (株)	3,394,235	3,444,223
希薄化後1株当たり四半期利益の算定に用いられた普通株式の期中加重平均株式数 (株)	3,426,378	3,461,825
基本的1株当たり四半期利益 (円)	32.78	8.56
希薄化後1株当たり四半期利益 (円)	32.48	8.52
希薄化効果を有しないため、希薄化後1株当たり四半期利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	新株予約権1種類 (新株予約権の数7,050個)	新株予約権2種類 (新株予約権の数31,550個)

(注) 2019年7月16日に開催された取締役会にて自己新株予約権60,000株を消却しております。

(後発事象)

該当事項はありません。